

「良書ご案内」

2026年1月Vol.197 良書案内

書籍名	西洋の敗北と日本の選択	著者名	エマニュエル・トッド
出版社名	文藝春秋	発行年月	2025年9月

世界的ベストセラー「西洋の敗北」の著者トッドが現在の世界の混乱の理由を本書で語っています。トッドの言う「西洋の敗北」とは、英米仏からなる西洋がこれまで世界を支配してきた価値体系(自由主義的・リベラルの西洋)の崩壊を意味しています。西洋(米英仏)の崩壊はグローバリゼーションによる生産基盤の海外移転が進み過ぎ、もはや産業の空洞化は後戻りできなくなった事実を根拠としています。米国は安価で質の良い製品を自分で生産せず海外に依存しており、高学歴者ほど産業やモノづくりへの就職につながる科学やエンジニアの分野ではなく、高収入が期待できる金融や法律の分野に進んでいます。実に弁護士数は130万人を超える日本の30倍以上の規模に達しています。

トッドの見立てでは、ウクライナ戦争はロシアが勝利すると言う。西洋は産業の空洞化によりウクライナに武器を十分供給できていない。国内に産業基盤を維持しているロシアが優位と考えています。

ウクライナ戦争で対露経済制裁の最大の被害者は欧洲であり、ロシア産のエネルギーの供給停止によるインフレが庶民の生活を襲い、その結果反EU派・親露派のポピュリスト政党が台頭しています。

日本には「核武装せよ」と強く警告しています。

現状、日本の安全保障は米国の核の傘に依存しています。使用すれば自国も核攻撃を受けるリスクのある核兵器は原理的に他国のために使えません。米国が自国の核を使って日本、台湾、韓国を守ることは絶対にありえないとトッドは断言しています。

お正月にフランスの知識人の話を聞き、世界をいつもと違う視点から眺めることで、「世界はいかに病んでいるか」を実感する機会になると思います。

(慶應大学名誉教授 国分良成氏への朝日新聞のインタビュー) 国際政治は「力の体系であり、利益の体系であり、そして価値の体系である」。現在の国際政治の特徴は、力、利益、価値体系のうち、価値の部分がほとんど消失している。価値体系に基づく理念の大國だった米国が、いまやほとんど理念を捨ててしまい、トランプ氏個人に世界が振り回されている。米国も中国も「力と利益」で動いており、大國でない国々(当然日本も)にとって今後厳しい状況が続くだろう。

岩城



2026年丙午の年ですね。診療報酬改定や、介護保険計画9期の最終年、医療介護業界に限らず、人出不足、建築費高騰等荒波の中へ漕ぎ出すイメージですが、皆様は?ここへ日銀による30年ぶりの利上げ(0.75%)がどう影響するか?さて、永年、この業界にいる私にとって、介護業界マーケットの神の存在といえば。。。株タムラプランニングアンドオペレーティングの田村氏。こちらのプレスリリースを参考に、9期計画を少し詳しく読み解き、残り9期1年及び次期10期に対する心構え?下準備をしておきましょう!まず、3年毎に策定される介護保険事業計画、計画量は、施設・居住系サービスの総量規制が始まった3期~5期は20万人前後で推移6期以降は減少傾向が続く。計画値未達が継続する中、8期の達成率は66.2%に留まる。9期計画値は、過去最低の7.8万人に減少9期1年目/2024年度の達成率は20.9%。建築費高騰が相当影響を及ぼしているでしょうね、日々実感しております。

2024年		2024年には全国で160万人分の施設・居住系サービスが供給されている		⑤+⑥
需要数計/要介護3以上①	2,372,303	17.6万人が夜間の介護サービスが受けられる地域密着型サービスを利用しながら		
サ付住宅 ②	241,874	自宅で生活していると推察される	④	
住宅型 ③	375,168	介護者がいなければ、食事、入浴、排泄等の身の回りのことが出来ず、		
地域密着型 ④	175,856	施設入所が必要となる要介護3以上の重度要介護者は、237万人 ①		
居住系サービス ⑤	505,785	差引すると58万人分が不足していると考えられる ①-(④+⑤+⑥)		
施設系サービス ⑥	1,102,769	行き場を失った58万人は、住宅型ホーム37.5万戸とサ付住宅24.2万戸が		
②-⑥合計 = ⑦		受け皿となっていると思われる。上記は日本全体、これを首都圏、それも		
介護施設等の ①-⑦	-29,149	都市部と郊外に分けて俯瞰し、それでも東京23区の供給不足は深刻と解析。		
供給過不足数		また大阪市も、住宅型ホーム・サ付住宅を加えて、2038年時点で24区中16区		
発行所:ライフデザイン研究所 編集人 伊藤		は供給不足が続く。田村様のデータを頭に入れつつ、立地と土地値と規模を		
所在地:〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-8アビリティ2F Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067		考える日々は続く…		